

やあめ

149号

五木村議会だより 2024.7.31発行



- 一般会計補正予算 物産館仮店舗設置に 1,000 万円（6月定例会） P2～3
- 流水型ダムを前提にした村の振興策は（一般質問） P4～8
- 村人インタビュー（仮山常雄さん） P9

6

月

定例会

こんなことが
決まりました

令和6年度五木村一般会計補正予算

2,543万9,000円を追加し、

総額45億6,963万8,000円

令和6年第2回五木村議会定例会が6月19日から21日までの3日間の会期で開会。上程された案件は報告2件、人事1件、条例の一部改正3件、協定書の締結1件、工事請負契約及び変更契約3件、補正予算2件の合計12件。

一般会計の補正予算では、低所得世帯支援給付金350万円、定額減税の調整給付金600万円、物産館仮店舗設置業務委託1,000万円などが含まれる。

一般質問は5人の議員がダム問題や村の振興などについて執行部に質問をした。人事案件は賛成多数で同意し、それ以外の案件については全会一致で可決した。

— 第2回定例会 議案審議の結果 —

賛成…○ 反対…× 欠席…欠

議案名	園田 良治	早田 吉臣	中村 俊也	川邊 正美	田山 淳士	藤本 新一	西村 久徳	審議結果
議案 第46号 教育委員会委員の選任について	○	○	○	○	×	○	○	原案同意 賛成多数
議案 第47号 五木村職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第48号 五木村国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第49号 五木村重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第50号 五木村災害復旧事業の施行に関する令和6年度実施協定書の締結について(村道白蔵線地すべり災害復旧事業)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第51号 工事請負変更契約の締結について(村道入鴨線災害復旧事業)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第52号 工事請負契約の締結について(林道菊池人吉線災害復旧事業)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第53号 令和6年度五木村一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案 第54号 令和6年度五木村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成

第4回臨時会

— 議案審議の結果 —

賛成…○ 反対…× 欠席…欠

議案名	園田 良治	早田 吉臣	中村 俊也	川邊 正美	田山 淳士	藤本 新一	西村 久徳	審議結果
承認 第1号	○	○	○	○	○	○	○	原案承認 全員賛成
承認 第2号	○	○	○	○	○	○	○	原案承認 全員賛成
議案 第45号	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成

国県への要望活動

令和6年5月27日と28日に五木村の振興計画の確実な履行を求めて、要望活動を行いました。

5月27日は熊本県庁にて木村熊本県知事に直接、要望書を手渡しました。知事は「県政の最大の課題は村の振興であり1日でも早く実現するために要望を受け止める」と語りました。

翌日28日には東京にて金子恭之衆議院議員など熊本県に關係のある国会議員や財務省、国土交通省に対して五木村振興計画への要望書を手渡しました。



堂故 茂 国土交通副大臣への要望



国土交通省幹部への要望書提出



自民党本部にて金子恭之代議士との懇談

穴あきダムは村民同意で

木下村長 それぞれの想いがあり、
丁寧な説明を続ける

質問 下流域を災害から守るため五木村は計り知れない犠牲を被ること60年近く、まさにダムに苦しみ翻弄続く中10年前にはダムの中止。そしてダムによらない村づくりまたは今度は流水型ダムによる新たな村づくり。

村長は先の村民集会で新たな村づくりのスタートに立つと表明されましたが、村民の中には賛成される方また強く反対される方もいる。

この村の重大局面では村内の対立をなくしお互いが協議に協議を重ね平和で豊かな村づくりの方策を強く望むが。

村長 村民の流水型ダムに対する関心の度合い、ご意見を拝聴し、各地の意見を伺ってきたと自負している。

質問 村民より議会に対し住



西村 久徳 議員

民投票条例とダム建設を前提とした計画への表明に対する抗議文も村長に出ているが、これらの事柄をどう思うか。

村長 村民それぞれの想いはあると思う。丁寧に説明を続ける。

木村新知事の来村について

質問 就任早々五木村と相良村を同日訪問された。五木村民には今日まで長年の翻弄に陳謝し、村の振興計画に村民の声にしっかりと寄り添い前知事の方針を継承し、一生懸命やりますと語った。

一方ダムの本体ができる相良村ではダムの合意は求めず、村の将来を一緒に作るのが最大の目的と強調され、分断を煽るようなことはしないと発表。

五木村と相良村では見解の相違があるが。

村長 相良村と五木村は基本的には同じ見解だと考える。

村の振興策について

質問 誰もが安全安心して住み続けられる若者が集う、ひ

かり輝く新たな村とあるが、これほど立派な文言はないと思う。そのひかり輝く実感が湧き上がるような方策は何か。

村長 村に住む人たちが自分の希望と夢を持ち、暮らさないことには絵に描いた餅である。

麦田政策調整監 今後、若い方の存在が必要。

質問 若者が集まる産業、仕事の見通しはあるのか。なければ村の再生のため国や県に何かお願いすべきでは。

村長 今の時代にあった光ファイバー、インターネット等を進めていく。

質問 今、村内の集落は半減している。高齢者だけで活力がない。これらの地域をどうする。

政策調整監 新たな振興策を策定する。

産業振興について

質問 村民の豊かな生活を作るためには村民の所得を上げる必要がある。

やっているが、その成果は。

土肥産業振興課長 ヤマメは熊本業者が行い、端野野キャンプ場も民間の人である。くねぶは生産量が年々増加しているので加工場を整備して加工品を考える。村は、森林で自立する村づくり宣言をして活動しており、五木産材の販売方法などを検討していく。



くねぶサイダー



くねぶ

新たな五木村振興計画は

木下村長 流水型ダムを前提として



早田 吉臣 議員

質問 昨年「新たな五木村振興計画」が策定された。全員協議会で、改訂版を作りたいとのことであったが、村民への周知はどちらで行うのか。

土肥ダム対策課長

令和6年度の県事業については、今年4月に知事選に伴い補正予算が編成されたことから今年度の振興計画を策定し冊子をつくり全戸配布する予定。改訂版については、協議の結果によって説明したい。

質問 地区座談会の方法は、少人数の環境で行うのか。

ダム対策課長

北地区、頭地区、三浦地区、南地区、西地区の5か所を予定している。地区によって希望があれば、出向いて説明、意見交換を行いたい。

質問 振興計画は毎年ローリングを行い検証、修正を行うとのことだが、一般の方でもわかるような方法が必要であるのではないか。

ダム対策課長

それぞれの課で次年度の計画に反映する取り組みを行い、座談会でも紹介しながら反映したいと思っている。

質問 振興計画への県と国の関わりを行うのか。

村長

座談会へ常に国・県の

質問 若い世代、中学生、高校生などの意見交換の機会は設けるのか。

ダム対策課長

中学生議会など意見を聞く機会をいろいろな場面で設けて行きたい。

質問 昨年設立した、東日本ふるさと会などでも振興計画のアイデアなど意見交換の機会を設けたらどうか。

村長

流水型ダムを前提とした計画をスタートしたということ子供たちが思う村の未来像や東日本ふるさと会での提案の意見も踏まえて取りまとめて行きたい。

質問 振興計画は毎年ローリングを行い検証、修正を行うとのことだが、一般の方でもわかるような方法が必要であるのではないか。

質問 振興計画はリーダーシップをとり作成するのかが村民の意見を聞いて行くのか。

村長

村民の意見を聞きリーダーシップとして決断して行きたい。

質問 県が要望している改良工事、国道445号の遅れに強く要望すべきではないか。

村長

木村知事が誕生されたので、

方も参加してもらっている。その他グラウンドデザイン会議、宮園周辺協議会にも参加してもらい五木の振興に関わってもらっている。

質問

国・県には高齢者や災害対策に連携して振興計画に入ってもらいたいが。

村長

今年も村の防災会議に入ってもらっている。北地区の防災フェアにも視察してもらい協力をいただいている。

質問 振興計画はリーダーシップをとり作成するのかが村民の意見を聞いて行くのか。

村長

村民の意見を聞きリーダーシップとして決断して行きたい。

質問 県が要望している改良工事、国道445号の遅れに強く要望すべきではないか。

村長

木村知事が誕生されたので、

令和6年度実施計画の中に県の予算付けを表していただきたいと思っている。

質問

新聞報道では五木村長はダムを容認と報道がある。新たな五木村振興計画は流水型ダムを前提とした計画なのか。

村長

流水型ダムを前提とした新たな村づくりのスタートラインに立ち振興計画を進めていきたい。



久領地区の流水型ダム模型

流水型ダムを前提とした今後の振興策は

木下村長 頭地地区の平場の造成を早くしたい

村政
を
問う

一般質問

質問

4月21日の村民集会で

村長は流水型ダムを前提とした村づくりを表明されたが、早急に取り組む短期・中期の振興策はどのようなものがあるか。

村長

平場の造成は早く手をつけてやる必要があると思っている。右岸側の未着工の付け替え道路についても国・県と協議していきたい。

質問

若者を増やす政策を考えないと人口はますます減っていくばかりである。国・県の力を借りても雇用の場を設ける施策はないか。

村長

それを行うには生活環境の改善や住宅の問題などがあり、平場が必要となってくる。



田山 淳士 議員

る。それと今ネットワークは五木村各世帯に入っているが、容量が足りていない。3年ぐらいを目処に光ファイバーを埋設したい。それまで平場の造成ができればと思っている。



平場造成

“ひかり輝く”新たな五木村振興計画

基本計画



令和5年5月(令和6年7月改訂)

五木村・熊本県・国土交通省

五木村振興計画



流水型ダムを前提とした振興計画は

木下村長 平場造成、未開通道路の着工につなげたい



藤本 新一 議員

振興策の考えは

質問 村長は流水型ダムを前提に五木村の振興をと発言されているが五木村の振興にどの程度のプラスがあると考えての発言なのか。

村長 平場造成、産業振興、企業誘致、逆瀬川の橋梁及び右岸道路の未開通区間、県が作成する水源地对策特別措置法の問題等がありダムを前提にと発言した。

質問 国・県が行う平場造成等各種の事業計画の事業費や着工年度、工期などが明確に提示されない中で発言は問題があると思うが。

村長 水没予定地の利活用、

県が行う竹の川のかさ上げ、宮園地区の河川整備等の事業費を含めて財源等を財務省や国土交通省に要望している。

質問 振興計画で四つの事業

十二の要望事項があるが水源地对策特別措置法にどれくらいの事業を載せられるのか。

村長 県が策定し国に申請することになっており県と協議する。

質問 消滅する可能性のある自治体から辛うじて南阿蘇村と五木村が抜けたが喜んではいられない。若者の定住、特に女性の定住が重要であり、そのために雇用の場の創出が必要だと思つた村長の考えは。

村長 定住の助成金、出産祝い金、教育費の助成等の拡充。雇用の面では副業協同体で若手の雇用もできている。

質問 村内は高齢化が進み集落の各種行事もできない地区もあり、集落の集約化が必要と思うが、造成予定の平場に

計画をする村長の考えは。

村長 庁内で平場の利活用を検討しているが、各議員の考えも賜り進めていきたい。

質問 造成する平場に高齢者施設や避難施設等が必要と思う。計画性を持った平場の造成をしてほしい。

村長 高齢者施設については二、三年くらい検討をしてきた。またアンケート調査も行ったが生活用品などの買い物に不便な面があると回答が来ている。それらの意見をもとに将来どのような施設が必要になるのか検討していく。

質問 ダム建設に関係が薄い地区の振興を進めるため、そのような地区の住民の意見を聞くことが村長には必要だと思つた。

村長 頭地以外の集落との格差があると意見も聞く。全村に目を向けていく。



未着工の逆瀬川橋梁



東小前の平場造成

耕作放棄地の利活用は

土肥産業振興課長 情報などを得ながら検討している



園田 良治 議員

耕作放棄地の利活用について

質問 五木村では夏秋いちご栽培を行っているが、他の耕作放棄地の利用について考えているのか。

土肥産業振興課長 五木村には耕作放棄地対策協議会があり、県や企業、有識者の情報などを得ながら検討している。

また施設や勉強会をしながら試験栽培としてぶどう、山椒50本を6地区にて栽培を行っている。

質問 獣害対策の現状は。

産業振興課長 6地区では鹿ネットで対策をしている状況。

自然エネルギー（再生可能エネルギー）を利用した取り組みについて

質問 電気料金の高騰に伴い、今後、太陽光、風力、栗鶴川に小水力発電施設ができる予定だが、他に電力施設を作る予定は。

村長 令和4年に五木村ゼロカーボンシティ2050の宣言を行い、それに沿って脱炭素に向けた取り組みを進めている。太陽光発電の導入も今後検討している。

婚活イベントについて

質問 数年前に婚活イベントが頻繁に行われていたが、最近は行われていない。今後イベント等を行う予定はあるのか。

土肥ダム対策課長 五木村でも平成22年度から28年度まで村独自の婚活イベントを実施してきた。しかし参加者が少な

くそれ以降は村独自のイベントは行っていない。

今後、出会いの場を提供するとともに結婚や子育てしやすい環境を整えることも重要と考えるので、取り組みをしっかりとPRしていきたいと考えている。



太陽光発電の下を利用した作物栽培（人吉市）



耕作放棄地の現状



仮山 常雄さん (頭地)

①自己紹介

2019年溪流ヴィラITSUKIの開業に合わせ五木村に移住し、6年目を迎えました。鹿児島県南さつま市出身で、東京と鹿児島市でシステムエンジニアを15年程経験した後、出身地の宿泊施設開業に伴いオープニングスタッフとしてお声掛けいただき、サービスの世界に入りました。宿泊業以外にも「アウトドアガイド」や、「鹿児島県全域の修学旅行（民泊）の受入本部」や「キャンプ場管理人」など様々な、経験をさせていただき、これまでの経験を活かした五木村の観光の活性化に取り組みたいと考えています。

②仕事について

溪流ヴィラITSUKIと、五木村観光情報センターを兼務させていただいております。どちらも、一人でも多くの方に五木村に足を運んでいただくため、精一杯取り組んでいますが、まだまだ努力不足であり、



溪流ヴィラitsuki

④村や議会にのぞいて

川辺川ダムに関する事が更にクローズアップされてくると思います。今後も引き続き村民、村内事業者全体が幸せになるための判断をしていただければ幸いです。

③五木村に住んでみて

とても過ごしやすく素晴らしい環境です。もともと田舎暮らし派なので、スーパードなどが近くになくても全く不自由を感じません。鹿児島の自宅に行く時も特別な用事がなければ、ほとんど日帰りで帰ってくるほど、五木村の生活が気に入っています。

更に得意技術を活かし、五木村の情報発信し、多くの方にお越しいただき、十分ご満足いただけるよう取り組みます。

議会の動き(4月～6月)



4月

- 1日 教職員辞令交付式（岡本議長）
入園式（岡本議長）
- 3日 定例全員協議会（全議員）
川辺川ダム対策調査特別委員会（全議員）
- 8日 五木中学校入学式（全議員）
広報委員会（第1回）
- 9日 東小学校入学式（全議員）
五木分校入学式（岡本議長）
- 11日 定例郡議長会議（岡本議長）
- 14日 第8師団観覧式（岡本議長）
- 16日 川辺川ダム対策調査特別委員会（各議員）
広報委員会（第2回）
- 18日 熊本県知事来村（各議員）
- 19日 広報委員会（第3回）
- 21日 村民集会（各議員）
- 22日 例月監査（田山監査委員）
広報委員会（第4回）
- 26日 川辺川ダム対策調査特別委員会（各委員）

5月

- 9日 第4回臨時会（各議員）
定例全員協議会（各議員）
- 14日 県議長研修会（岡本議長）
- 16日 定例郡議長会議（岡本議長）

- 18日 保小中高合同運動会（各議員）
- 20日 郡監査委員総会（田山監査委員）
- 21日 例月監査（田山監査委員）
- 21～22日 正副議長研修会・要望（岡本議長・中村副議長）
- 23日 人吉球磨広域行政組合議会運営委員会（田山・西村議員）
- 24日～25日 東日本五木ふるさと会（岡本議長）
- 27日～28日 国及び熊本県への要望（各議員）
- 29日 国道219号整備改良期成会総会（岡本議長）
- 30日 人吉地区防犯協会連合会審議委員会（岡本議長）
- 31日 川辺川ダム対策調査特別委員会（全議員）

6月

- 3日 防災会議（岡本議長）
- 5日 定例全員協議会（全議員）
五木湯前線・幸野染田線開通促進期成会監査（川邊議員）
- 11日 議会運営委員会（各委員）
臨時全員協議会（全議員）
- 16日 郡消防ポンプ操法大会（岡本議長）
- 19～21日 第2回議会定例会（全議員）
- 24日 例月監査（田山監査委員）
人吉下球磨消防組合議会全員協議会・臨時会（川邊議員）
- 26日 川辺川ダム対策調査特別委員会（全議員）
広報委員会（第1回）

空から こんにちは!

連載第2回

五木村議会だより

やあめ

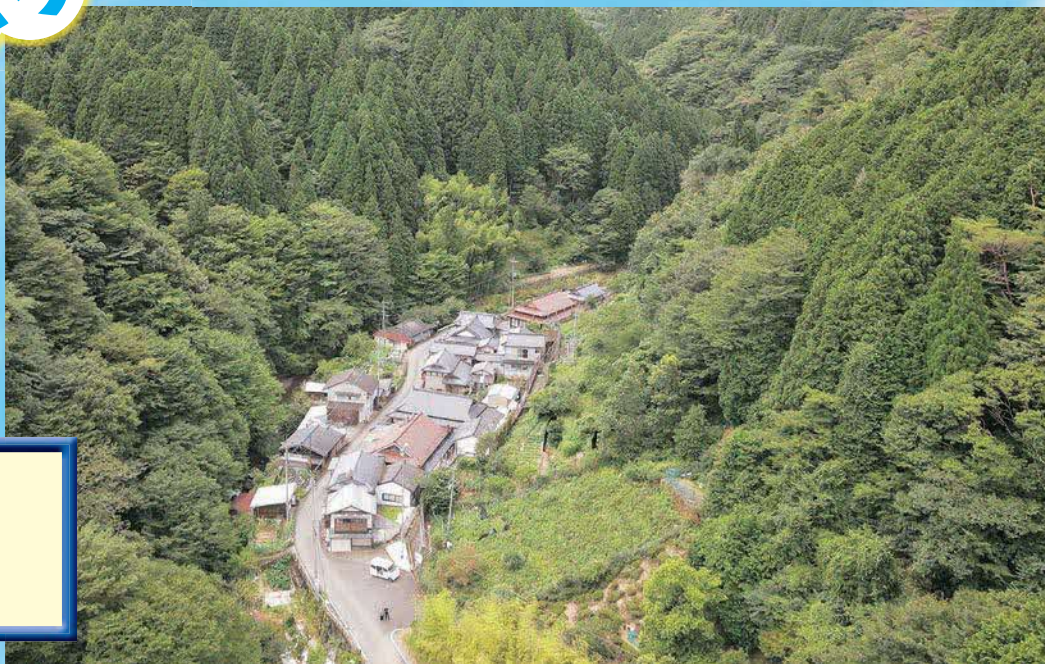
149号

2024.7.31発行

発行責任者
編集者

五木村議会
議長 岡本 精二
議会広報委員会

〒800-0201
熊本県球磨郡五木村甲2672-7
TEL(0966)371-2355



山口地区

世帯数 11世帯
人 □ 17人



内谷地区

世帯数 12世帯
人 □ 22人

写真提供：
地域おこし協力隊
平山 光信 さん

つぶやき

日本各地で猛暑が
続き連日熱中症で多
くの人が救急搬送さ
れています。
熱中症を引き起こす
条件は、環境と身体、

行動によるものが考えられると
言われているそうです。

環境の要因は気温が高い、湿
度が高い、風が弱いなどがある
ようです

体の要因は激しい労働や運動
によって、体内に熱が生じたり
することに体が十分に対応でき
ないことが熱中症を引き起こす
原因だそうです。

熱中症を予防するには、無理
をせず徐々に体を暑さにならす
ことだそうです。そして小まめ
な水分、塩分補給が大事なよう
です。

梅雨が明けて本格的な夏が
やってきます。十分暑さ対策を
して毎日をお過ごしください。

川邊 正美

五木村議会広報委員会

委員長 田山 淳士
副委員長 園田 良治
委員 中村 俊也
委員 川邊 正美

次回の定例会は9月上旬の予
定です。
皆様の傍聴をお待ちしてい
ます。

表紙題字：故 尾方 芳郎氏